



第9回 全国ユース環境活動発表大会 全国大会

〈実施概要〉

日程 令和6年2月3日(土)～2月4日(日)

会場 国連大学 ウ・タント国際会議場、レセプション・ホール

主催 全国ユース環境活動発表大会実行委員会
(環境省／独立行政法人環境再生保全機構／国連大学サステナビリティ高等研究所)

後援 読売新聞社

協力 環境省地方環境パートナーシップオフィス(EPO)／地球環境パートナーシッププラザ(GEOC)／ESD活動支援センター

協賛 キリンホールディングス株式会社／協栄産業株式会社／SGホールディングス株式会社／株式会社タニタ



会場：国連大学
(東京都渋谷区)

受賞校のみなさん、おめでとうございます！

全国大会に出場した高校(団体)は、いずれの活動内容も発表もすばらしく、審査を経て環境大臣賞をはじめすべての出場高校に賞が贈られました。表彰された16高校の活動をご紹介します。

環境大臣賞

栃木県立矢板高等学校 農業技術部畜産班

未来へつながる放牧牛～ビーフダイバーシティと避難放牧～

「放牧牛」は、輸入飼料に頼ることなく、自然の草を食べて育ちます。耕作放棄地対策や野生動物対策など持続可能な畜産として注目されています。私たちは、放牧牛の流通・販売や新たな国産飼料の開発、さらには家畜防災システムの構築などSDGsに繋がるストーリーを提供して、放牧牛ファンを増やす活動に取り組んでいます。



環境再生保全機構 理事長賞

熊本県立熊本農業高等学校 養豚プロジェクト

養豚業のゼロエミッション#産業廃棄物に輝きを！

私たちは、エコフィード開発により廃棄物ゼロを目指した活動を行ってきましたが、豚脂や分娩時に排出される胎盤が廃棄されていました。そこで、マッチングサイトを開発し、食品企業と畜産農家のマッチングに成功。高洗浄力で環境に優しい洗濯石鹼も完成。豚脂粕や胎盤を利用出来たことで養豚業のゼロエミッションを達成しました！



国連大学サステナビリティ高等研究所 所長賞

青森県立名久井農業高等学校 FLORA HUNTERS

水がなくなる前に～超節水栽培の開発～

地球で利用できる淡水はわずか0.01%しかない。人間はその70%を農業に利用している。私たちが考案したのは、ごく少ない養液を霧状に噴霧する栽培システムである。従来の水耕栽培より使用する水を70%以上も大幅に節約でき、噴霧する時間帯を変則的にプログラムすることで水耕栽培ながら高精度トマトも生産可能になることを明らかにした。



読売新聞社賞

愛媛県立長浜高等学校 水族館部「あらぶるぶりのあらぼね救助隊」

魚の中落ち活用でフードロス削減！缶詰「ブリの骨じゃん」の開発

ブリは、出荷の際に食品としてはあまり利用されない大量の中落ち(中骨)が発生します。私たちはこの中落ちを食品利用できないかと考え、調味液の濃さを変えたり、酢で事前処理したりするなどした結果、中骨を柔らかくし、栄養豊富でおいしい缶詰に仕上げました。今後もフードロス削減を目指します。

